

MeSo

Medical Care & Social Welfare

京都

医療の
仲間

2015年 夏号

第181号

・発行・

京都医療労働組合連合会

京都市中京区四條御前西入

京都労働者総合会館6F

TEL (075) 801-8002

FAX (075) 811-6170

<http://www.labor.or.jp/iroren/>

(E-mail: iroren@labor.or.jp)



組合こそが平和運動の原動力！
NPT再検討会議ニューヨーク行動

もくじ

- 2～3 P
いのちを守る、私たち医療労働者は戦争に反対します
- 4～5 P
岩手県・東日本大震災連帯企画
- 6～7 P
時には音楽
トークプラザ
ちょっとひと味



京都医労連の代表として2015年NPT再検討会議ニューヨーク行動に参加しました。医労連書記局、各単組、福知山地方協の各単組の皆様の応援とカンパありがとうございました。

NPT再検討会議を翌日に控えた4月26日原水協代表団はユニオンスクエアに集合し、日本ではめざましテレビでも放送された1万人規模の核兵器廃絶を求めるパレードを各国の代表団とともに行いました。国連本部前のハマーショルド広場へ終結、最大の目的としていた「核兵器全面禁止のアピール署名6,336,205筆をNPT再検討会議のタウス・フェルキ議長とアンゲラ・ケイン国連軍縮担当上級代表へ提出しました。翌日のNPT再検討会議冒頭で潘基文事務総長は署名を「軍縮のチャンピオンに感謝」と紹介されました。

4月27日、全労連の米反戦労働連合会との交流集會に出席しました。全労連野村副議長は「職場で世論を広め戦争のない世界を」、日本医労連奥山中央副執行委員長は「私達は命を守る医療、福祉労働者の使命から平和運動の取り組

みをしている」と発言されました。

日本原水協代表会議、国際シンポジウム「ともに核兵器のない世界へ新たな地平を開こう」では1,058人全員が集まり、署名提出が成功したこと、被爆70年の世界大会へ前進しようと呼びかけました。

4月28日は医療福祉関係者のつどいへ参加しました。アメリカでは健康保険の加入義務はなく、加入制限がありました。オバマケアによって健康保険制度の大改革が実施されたことの発言がありました。日本の被爆2世からは放射能被害が隠ぺいされ、みんなが知らないことが核兵器や原発がなくなることにつながっていると訴えました。

「組合が平和や核兵器に関係あるの？」とよく聞かれます。社会の大多数を占める労働者の地位改善が社会の安定や平和の維持に必要であり、命と健康を守る医療福祉労働者としての使命があり、命と健康を奪う戦争や核兵器には反対だと伝えていきます。

井上まり子（福知山市民病院労組）



陸前高田市のベルトコンベア
市街地全体を11メートル程度かさ上げする計画で、愛宕山を削って土砂をベルトコンベアで運んでいる。



県立高田市病院 (仮設)
仮設病棟で入院患者を受け入れるのは初めて。

三陸鉄道の約100人の社員は無事で、山の近くを走る北リアス線の一部なら、がれきが撤去できれば復旧できると判断し、震災5日後の16日に区間運転を再開した。再開当初は復興支援で3月中は運賃を無料にしたとのこと。三陸駅から大船渡に向かい、仮設住宅の住民の方々と交流をおこなった。

大船渡の仮設住宅では、京都からお米を「医労連米」として持参。仮設の人からはとても喜ばれた。お返しに山菜の「しどけ」をいただいた。また、NHK岩手が「京都の看護師、介護士が支援にきた」と取材。地元では4回もニュースで放送され、大きな話題に。仮設の人達に聞く「この仮設に住んでいる人は、同じ村の出身。元気の源は近所の人達で、顔見知りであること」と、身近なコミュニティの重要性を感じた。

陸前高田市内

仮設の陸前高田市役所から「奇跡の一本松」までを市議員の藤倉氏の案内で回る。「鉄道の整備は遅れています。JR駅の跡地はバス停でコミュニティバスが運行している状況であり、鉄道整備が進まないと町の発展の遅れにもつながっていきます。東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議ではJR東日本へ要請に行きますが面会すらしてもらえない状況です」と藤倉さん。

市内は、地盤沈下した低地部のかさ上げの区画整理を進めている最中で、あるのは盛り土と工事車両のみ。いまだに復興は進んでおらず、津波被害の大きさを感ずる。「区画整理のために地権者に承認の契約をとるのに2年かかりました。山を削って、その盛り土を置く仮置き場の許可をとるにも地権者からの承認の契約が



合掌をモチーフに作られたJR釜石駅の復興の鐘



釜石市の高台避難場所 ボランティアガイドの藤原さん。語りべとして、多くの人に震災の事実を伝えている。



大槌町役場 町長を含め33人の死者・行方不明者がでた。大槌町の犠牲者率は宮城県女川町に次いで大きい。

京都医労連

岩手県・東日本大震災 連帯企画



5月7日～9日に岩手県・東日本大震災連帯企画を岩手医労連協力の下で実施した。震災から4年を超えたが、復興にはまだまだ程遠い現実があった。医労連は、4年前から東北支援に取り組んでいるが、さらに大きな支援の輪が広まれば幸いである。

陸前高田市の奇跡の一本松

釜石市内見学

夜行バスで朝8時に釜石駅前到着、橋上市場にて朝食。岩手医労連中野委員長と合流後、9時からボランティアガイドの藤原さんとバスに乗込み、現地見学出発！

大槌小学校のあった場所の隣には中学校もあったのだが、今は何も無くなっている。震災前は岩手県で2番目の大槌湾の砂浜海水浴場。地盤沈下して、砂浜は海面下に没してしまった。県立大槌病院跡は、かすかに1階のコンクリート部分らしいところが見えた。三陸自動車道を釜石市街地に戻る。津波避難場所から釜石港を望むと、4年も経つのに津波の傷跡があちこちに見えた。ダンブが駆け回り、重機があちこちで動いている。

このバス見学も1時間半程度の「弾丸」で停まってゆっくり見ることも出来なくて残念。三陸鉄道に乗り、次の目的地へ移動し、釜石を後にした。



今回、京都医労連の連帯企画の話をしていただいたとき、「これは何としても全面バックアップしなければ」と思いました。

震災直後は停電が発生し、通信も断たれてしまい、情報が入らず歯痒い思いをしていたことを覚えています。震災から4年を超えましたが復興はまだです。

被災地として、一番の願い「忘れない」ということ、住民本位の復興の実現、国や岩手県の責任を追及する取り組みに、大きな支援を引き続きお願いします。

岩手医労連執行委員長
中野 るみ子



釜石から大船渡へ

釜石駅から三陸鉄道南リアス線で三陸駅に向かう。南リアス線はリアス海岸沿いを走って、長大なトンネルが多い。全線運行再開は昨年の4月からで、クウエートからの支援で購入した車両で運行されている。



プレハブの建物が並ぶ大船渡の仮設住宅

県立高田病院

市内見学の後に県立高田病院を訪ねた。この病院は震災直後から仮設の建物で診療を行っている。看護師で高田支部書記



病院のロビーに飾られていた「東北応援団」のマスコット。ふと見るだけでも心が和む。

長の大浦さん、元大船渡支部支部長で現在は市議会議員の大坪さんのお二人に病院内を案内していただく。

「県立高田病院は4階建てでしたが4階まで大津波にのみ込まれました。そして多くの犠牲者を出し、病院機能も完全に停止しました。しかし、3月13日には避難所となった高台にある米崎コミュニティセンターを拠点に診療活動を開始しました。そして7月に仮設診療所が完成し、翌年の2月からは41床の仮設病棟を開設して入院の受け入れを再開しました。仮設病棟で入院患者を受け入れるのは全

陸前高田未来商店街(仮設)の「くまのこぞろ小澤」

ちょっとつかついおやじさんと、まっちゃんと呼ばれるおばちゃんのお店。我らが入って超満員。時間が迫っていたのでお任せ三色丼1000円也を注文する。マグロ、タコ、イクラ、ワラサ、サーモン、ポタエビ、マンボウ、アジ、平目、イカ、ホタテのどんな組み合わせでいただけるかは、おやじさん次第。何が来ても新鮮で最高にいい。次は三色丼をいただきたい。

国初のことです。現在では震災前とほぼ同等の診療が可能です。」高田病院では以前から訪問診療などが高齢者医療の提供に重点を置いていて、震災後も市内11地区や仮設団地で、健康講演会を企画し、地域住民への健康講座や懇談などを続けられている。また、農作業が盛んな地域であったこともあり、仮設住宅入居者の心身のケアのために、畑作りを企画している。



農園は仮設住宅にもりがちだった被災者の方々の健康維持や住民同士の交流の場となっており、収穫した野菜を東京で販売するなど、病院として積極的に取り組んでいる。

震災前には病院が診療所になる計画もあったらしいが、病院をなくしてはならないと反対運動があり、高田病院は残ったとのこと。病院と地域の信頼関係がしっかりと築かれていて、地域のみなさんのために奮闘する病院職員の様子を聞き、この地域にとってなくてはならない病院だと感じた。

京都医労連では、岩手、宮城、福島への支援物販に取り組んでいます。お菓子・ラーメン・お酒など、ぜひご協力ください。

問合せ
075-801-8022



5月16日に76人の参加で「春のナースウェーブ」を行いました。ジャーナリストの小林美希さんが看護師の特定行為問題の危険性について講演されました。講演の後は、各職場の実態の報告を行い、四条烏丸で増員署名の宣伝行動をしました。

第82回メーデー

京都府内各地で行われたメーデー集会には京都医労連から600人を超える仲間が参加しました。とっても暑い一日でしたが、みんなで楽しくアピールしてきました。



5.3憲法集会in京都

5月3日に円山音楽堂で「生かそう憲法・守ろう9条・戦争する国にしない！させない5.3憲法集会」が3000人以上の参加で行われました。集会では元内閣官房副長官補の柳澤協二さんが講演され、イラク派遣など近年の自衛隊の海外派遣が如何に危険であったか、自衛隊内部でも大きな不安と混乱を招いた実態が語られました。集会後は、京都市役所までパレードを行い、府民にアピールしました。



編・集・部・だ・よ・り

安倍政権によって様々な悪法がはびこっています。そのよ
うな中、私たちは平和を守り、安心して暮らせる日を勝ち取る
ために、声を大きくして団結して頑張る時だと思えます。新
しい時代が必ず来る事を信じて共にがんばりましょう！